

A年 復活節第3主日

主日のテーマ 「パンを裂く」

特禱

神よ、誉れあるみ子は、パンを裂くみ姿のうちに、ご自身を弟子たちに示されました。み恵みによって、わたしたちの信仰の目が開かれ、贖いのすべてのみ業のうちに主を見いだすことができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

使徒言行録 2:14a,36-47 または イザヤ書 43:1-12

詩編 116:12-19 または 116

ペトロの手紙 I 1:17-23 または 使徒言行録 2:14a,36-47

福音書 ルカによる福音書 24:13-35

¹³ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、¹⁴この一切の出来事について話し合っていた。¹⁵話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。¹⁶しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。¹⁷イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何のことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。¹⁸その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在していながら、この数日そこで起こったことを、あなただけのご存じなかったのですか。」¹⁹イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。²⁰それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。²¹わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。²²ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、²³遺体を見つげずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。²⁴仲間の者が何人か墓へ行って見たのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」²⁵そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心が鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、²⁶メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」²⁷そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

²⁸一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。²⁹二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言って、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。³⁰一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。³¹すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。³²二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。³³そして、時を移さず出発して、エルサレムに戻ってみると、十一人とその仲間が集まって、³⁴本当に主は復活して、シモンに現れたと言っていた。³⁵二人も、道で起こったことや、パンを裂いて下さったときにイエスだと分かった次第を話した。

※福音書は以下より引用しました。

聖書 新共同訳：(c)共同訳聖書実行委員会

Executive Committee of The Common Bible Translation

(c)日本聖書協会

Japan Bible Society, Tokyo 1987,1988